

平成 17 年 8 月 26 日

各 位

会 社 名 株式会社 カスミ  
代 表 者 名 代表取締役社長 小瀨 裕正  
(コード番号 8196 東証第1部)  
問 合 せ 先 執行役員経営管理本部マシ<sup>ャ</sup>兼  
経営企画部マシ<sup>ャ</sup>兼財務部マシ<sup>ャ</sup>  
福井 博文  
T E L ( 029 ) 850-1850 ( 代表 )

### 「固定資産の減損に係る会計基準」の早期適用及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、「固定資産の減損に係る会計基準」を平成 18 年 2 月期中間期より早期適用することを決議いたしました。これに伴い最近の業績動向を踏まえ、平成 17 年 4 月 15 日の決算発表時に公表いたしました平成 18 年 2 月期（平成 17 年 3 月 1 日～平成 18 年 2 月 28 日）の中間期及び通期の業績予想を下記のとおり修正いたします。

#### 記

#### 1. 「固定資産の減損に係る会計基準」の早期適用による減損損失計上

当社及び当社グループは、財務体質の健全性という観点から「固定資産の減損に係る会計基準」を早期適用することといたしました。

当中間期に計上する減損損失見込額は次のとおりです。

個別減損損失見込額	13 億円
連結減損損失見込額	26 億円

#### 2. 平成 18 年 2 月期中間業績予想数値の修正（平成 17 年 3 月 1 日～平成 17 年 8 月 31 日）

(単位：百万円、%)

	営業収益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 ( A )	90,000	1,700	900
今 回 修 正 予 想 ( B )	87,000	2,300	0
増 減 額 ( B - A )	3,000	600	900
増 減 率 ( % )	3.3	35.3	100.0
(ご参考) 前期実績(平成 17 年 2 月中間期)	88,090	1,563	695

3. 平成 18 年 2 月期連結中間業績予想数値の修正（平成 17 年 3 月 1 日～平成 17 年 8 月 31 日）

（単位：百万円、％）

	営業収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	91,000	2,200	1,000
今回修正予想（B）	88,000	2,700	300
増減額（B - A）	3,000	500	1,300
増減率（％）	3.3	22.7	
（ご参考） 前期実績（平成 17 年 2 月中間期）	114,566	2,534	1,036

4. 平成 18 年 2 月期通期業績予想数値の修正（平成 17 年 3 月 1 日～平成 18 年 2 月 28 日）

（単位：百万円、％）

	営業収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	184,000	4,200	2,200
今回修正予想（B）	175,000	4,200	1,000
増減額（B - A）	9,000		1,200
増減率（％）	4.9		54.5
（ご参考） 前期実績（平成 17 年 2 月期）	174,712	3,362	1,796

5. 平成 18 年 2 月期連結通期業績予想数値の修正（平成 17 年 3 月 1 日～平成 18 年 2 月 28 日）

（単位：百万円、％）

	営業収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	186,000	5,200	2,700
今回修正予想（B）	177,000	5,200	900
増減額（B - A）	9,000	-	1,800
増減率（％）	4.8	-	66.7
（ご参考） 前期実績（平成 17 年 2 月期）	202,341	4,702	2,321

6. 修正理由

当中間期におきましては、業種・業態を超えた競争の激化等により営業収益は当初予想より若干の減少の見込みであります。経常利益は、販売費及び一般管理費の圧縮等により当初予想を上回る見込みであります。当期純利益は、「固定資産の減損に係る会計基準」を早期適用することにより、特別損失に減損損失約 13 億円を計上すること等により中間期及び通期の当初予想の修正を行うものであります。

連結業績予想につきましても、個別業績予想の修正理由と同じく当社グループが「固定資産の減損に係る会計基準」を早期適用することにより減損損失約 26 億円を計上すること等による業績修正であります。

以上